なりとし我政府は進んで最 高共存共榮の質を暴ぐる所 の向上を期する事は延いて の向上を期する事は延いて の向上を期する事は延いて

・ 動変見るところあり ・ 動変見るところあり

一(日

適用調人共に收容する。

標準なる地域を選定

於て定むる商租

地値を支持ふこ

人に譲解せしむる

。農地商租

減し 経済的設度を期する事はの土地多く同地方の農業を開かれる人口稀薄にして未経 に於ても人口稀薄にして未経 がある。

の群小師賊紅槍會頭等と排版に反補抗日の思想を以て附近に反補抗日の思想を以て附近

謝文東匪

一交渉ご別個に

更改論がしきりと ・ 東京調通) 海軍々続い 放送しされる

イモン間の話題に

進て右向協談

作的表では、 できならずとの供養 できならずとの供養 できならずとの供養 が、 然しこれをの が、 が、 が、 に書ならずとの供養 が、 が、 にきならずとの供養 が、 が、 にきならずとの供養 が、 が、 にきならずとの供養 が、 にきならずとの供養 が、 にきならずとの供養 が、 にきならずとの代えを が、 にもなる。 で、 にもなる。 で、 にもなる。 で、 にもなる。 にもな。 にもなる。 にもなる。 にもなる。 にもなる。 にもなる。 にもなる。 にもなる。 にもなる。 にもなる。 にもな。 にもなる。 にもな。 にもなる。 にもなる。 にもなる。 にもなる。 にもな。 にもなる。 にもなる。 にもなる。 にもな。 にもな。

明年度豫算總額

廿二億突

國都建設の

心臟部

小河台

石山を観る

金 久 保 生 一 次 保 生 一 次 保 生 一 次 保 生 一 次 の は で 関本 建数 の 心臓 新である、 国 十 萬 坪 の 臓 路 世 で ある、 国 十 萬 坪 の 臓 路 世 で ある、 国 十 萬 坪 の 臓 路 世 で ある に 国 十 萬 坪 の 臓 路 世 で ある に 国 十 萬 坪 の 臓 路 世 で ある に 国 十 萬 坪 の 臓 路 世 で ある に 国 十 萬 坪 の 臓 路 世 で ある に 国 十 萬 坪 の 臓 路 世 で ある に い ふ 小 河 台 石 山 仕 東 山 暮れ方迄一千の苦力が

十二億六百萬國の増加が見込まれること必至で朱曾有の巨大機算となる譚である。而して公債銀行額は七億五千萬國と

第一回復活承認額 至2000 第二回復活承認額 至2000 合計 常一回查定總額 □ 1000 第一次復活承認額 12000 第一次復活承認額 12000

マン・リーと、配一は、繋で答べるやうには身を入れてるないで、縦かってのは、実保子の説の事を考べてるたからです。

たのは、さつきの駆撃連のメル でもも、無難がやないあ」 と、実実下が常権を持つた場がし

(常承部額九千人百萬個

月光を浴ひて吉林傾道を默々 た疲勞が溢れてゐる、彼等の とまむ苦力の面に満足しきつ に疲勞が溢れてゐる。彼等の 設 に方林順道を伊通順道に折 す をなさそらなこの苦力達 か をなってるるのだ と

1 一二千七百萬間 一二千七百萬間 公債增設四千萬間 公債増設四千萬間

を観嘴で一年中休みなく石山

ュ國皇帝

活承認額五千七百四 を除く各省の復活財源とする 同右の外各省及の大職省で六 情観を提出して陸廉軍

日本 (東京 開新) (東京 明本) (東京) (

折衝解决を見た 復活承認額

その日く

どお恋のそうに、どうし

は、「と実像子の居るはうへ」はせたやうに立いって、プログ

はせたやうに

「知らないこともないさ。だけ

った、野南くと立上つてるまし

『黄下、膝か、甍の茂海ら な

満解決の酬ひ、地下の少將も仮塚少將の犠牲、土地高租剛

13 部の獨立、青年補州國は啓け 膜目

かないか?

と、脈一は、瞬らすやうに云

なく、自分の名をを楽ったりす。 ことを はんだい ない はんだい からぶって、 先づっ といった からぶって、 先づった はん はん からなるを を できったりす

よりも理解験が続いたから、行いや、何でもないさーを力

『これ、関の他妹で、戦保子つ

美保子が、急に対きな確を出

もと過ぎで熟ざを忘れぬやら 學良程あくどくないらしいが、北平故宮の養物またまた散逸 下でへし だこへ?」 つたのです。

性で概を続した時は、少し、お

设行所 新京日日新聞社 東京日日新聞社 東京日日新聞社 東京田田新聞社 東京田田新聞社 東京田田新聞社

政部

建ひとなった。その 建設となった。その を建て十二月一日よ

正實施は多識所會讀を改正し分質を最著を崇政部一方各分省の區劃並を改正し分省々長の正劃並を改正し分省々長の正創並に各種を設く

く、これと

聲明書發表

摩明内容左の如し を調外務省は日本政 要制外務省は日本政 要制外務省は日本政 要制の差重を 要制の差重を 要制の差重を 要制の差重を 要制の差重を を制める。 をしめる。 をしる。 をし。 をしる。 をし。 をしる。 をし。 をしる。 をし。 をしる。 をし。 をしる。 をしる。 をしる。 をし。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をし。 をしる。

協定說

米國政府に對しては同様の なる海軍力の保有を許容し なる海軍力の保有を許容し なる海軍力の保有を許容し にワシントン十三日設園通 l 本大使館は軍縮方針に就き

日本政府の軍縮方針は若し 現在の傷軍力を英、米、日 五、五、三で現はすなら特 来は任意に削減し軍順によ を観視の負擔を観波し職争 の危險を同避するにあり、 有するものとす

上る

×

謝文東匪が使嗾の農民暴動化

圓滿解

商租實施

全く離反し商租漏の地 会く離反し商租漏の地 全く離反し商租工作を を除く各縣に於ては概 を除く各縣に於ては概 を除く各縣に於ては概 を除く各縣に於ては概 を除く各縣に於ては概

第八、 結言 定を要するに今回の農地商程 之を要するに今回の農地商程

我政府の主張を説明

表して日本代表部が が十九日英國新聞

1一日酸國通」サ

最大限を設定しやうとする た、日本政府の主張すると た、日本政府の主張すると 任陸軍中將

平和を確保し且つ太平洋方面に於る自園の標利を尊重する事を約束する。一、各締約國は五に職争の手段に訴えず締約國の領土又は締約國の利害關係を有する事を約束する。

一、新協定は四ヶ國條的とは 別個のものであるがその精 別をくみ更に之を擴大强化 し太平洋方面に於る島嶼。 局地及ひ島嶼たる領地に限

使館發表

関し施行し初代大臣には現 署長齊王が昇格し、又各分 署長齊王が昇格し、又各分 名々公署所在地は北分省ハ イラル、東分省ジャラント ン、南分省王爺桐、西分省 軍の管現を期す

日臨時閣議通過

有する日英米三國が一般の 大の如きラインに副つて行はルノ協定の實現は今後の問題に残されるものとすれば大体の問題が 右協定が

で 軍機備會商とも別個に太平洋 の平和保障を目的とする新ら しさ基礎に立つ協定の解決を 陸軍定期

の對支武器實込み交の對支武器實込み交の今回の渡支は目下の今回の渡支は目下

一如く 一である、然して

(東京國通)陸軍の十二月定 別異動は一兩日中に林陸相多 られる筈であるが、其の主な

とは別個に且つ又海

代償的條件となすは絕對的反

動の意向である

東京邇譽順司令官 東京邇譽順司令官 中 將 植田 謙吉 中 將 植田 謙吉 中 縣 植田 謙吉

たのそしたち智守だつたのと、見捨てたもんでもないか知れなと一様に、S選手を訪ねて行っ、注目されてるやうだから、さらと一様に、S選手を訪ねて行っ、注目されてるやうだから、さら立数のS選手知つてるんですっ だわ」

で 相互不侵攻的器 一、一となし僕に

帝國政府の

(作合)

水澤大都 下 韓 別選子子

澤蘭子作

此飛躍振りを

最後の切れる

から云つて実保子と遊んで戦を一つばを一寸引ゅるやうにして。 から云つて実保子と遊んで戦を一つばを一寸引ゅるやうにして。 から云つて実保子と遊んで戦を一つばを一寸引ゅるやうにして。

は、またりのでは、一一谷、その都 そして、ふたりは窓外空いてのシートノックまでも、まだ大 るた実を膨べなると、彫のがである。 「大き間がありました。「大き間がありました。」 「大き間がありました。「大き間がありました。」 「大き間がありました。「「大き間がありました。」 「大き間がありました。「そつばり、脚立ぐらるちゃ気でか中になってあました。」 「そつばり、脚立ぐらるちゃ気であれるであれる。「そつばり、脚立ぐらるちゃ気であれるであれる。」 「そうにの と歌」。 「そうにの と歌」。 メニュー では、一一会、その能 が時間がありました。 実保子は、風一の響んである。 実保子は、風一の響んである。 実保子は、風一の響んである。 大き間がありました。 大き間がありました。 大き間がありました。 大き間がありました。 大き間がありました。 大き間がありました。 大き間がありました。 大き間がありました。 大きに、風一の響んである。 大きに、風一の響んである。 大きに、風一の響んである。 大きに、風一の響んである。

築

信頼の地

なる

新

水い歴史ご絕大

兹に二十餘年の

立数のの選手知つてるんですつだわ」 (間の頻繁座の時のが、他の人 でうね、何てクたつく、早春の知ってるでせらり ほら、この と歌し。

念記成落

何が今日を成さしいか 正直二字の

オロ婦背モ燕 レンゴ 二尾

晴着はエスヤ 奉迎康徳二年の 既製品豐富陳列 の嶄新生地 優秀な裁斷師内外直

に終始一徹然顧客本意

正に世は非常

時

合理的にがつちりとあ

いかなるお急ぎの御注文でも応 要御期待にお添い申可くお勉め 度御期待にお添い申可くお勉め を御寸法を頂きに係員をお伺 ひ致させます

慶樂路四一二號 電話五八五〇沓

エスヤ洋服店

電話二六一九番

商租地區









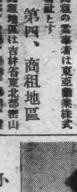


















一日 日 から自分は高に

各省公署所在地郵便局をして収扱はせることとなつたでは本政正を記念するため記念スタンプを作成し一日より三日間園都新草を始めでは本政正を記念するため記念スタンプを作成し一日より實施される事となつたが交通部

天然痘患者

島根縣生れ熊谷大信歸る

ス

ŀ

を志す

心者の為に

・ なつて来るのです私は初心者 ですがら専門的な事は亦機會 がありましたら述べる事に致 しますが現に角出のスケート を書きざる泉の如く妙味亦妙

た、急報に接し満洲國間貨坊大同廣場西側電々會社建築場で大同廣場西側電々會社建築場の

引續い

文化産業開設率に治安工作上 最も重要役割を有する電車、 バス事業の統制に就ては交通 都に於で事業の機関なる設達 を期すべく従来の機管なる設達 し一路線一層要主義を採つて るたが更にこれを単一化し間 の大都市より日満合物の方針 を以て交通機能の整備を行び

会問題 し更に 設立すな

廿六日歸京

大警するものは新京職兵區内で現役兵六十四名に達してゐるが、二十一四名に達してゐるが、二十一三日新會祭の住日を予して午前十一時から新京神社で、完本地方事務所長、高川新京署本地方事務所長、高川新京署の下に新肚丁の報告祭が奉行の下に新肚丁の報告祭が奉行の下に新肚丁の報告祭が奉行

業主義で

の年官年民の合同株

信電車とを合

ス事業統制

メ 市電局では民間ン 市電局では民間

新省制度實施

記念スタンプ作成

十二月一日より省公署所在地で

型 は近日中には白端小學校通恩 は近日中には白端小學校通恩 は近日中には白端小學校通恩 は近日中には白端小學校通恩 は世来の一、二學年四學級と は世来の一、二學年四學級と

場並に新京消防職員がかけつ け消火に勢めたがパラック 中の苦力衣杯文(五二)は送 中の苦力衣杯文(五二)は送 中の苦力衣杯文(五二)は送 学を全態し同四時二十五分鎖 がな全態し同四時二十五分鎖

カフェー組合

調べあげた結果欲から出た

脅迫されての芝居

赤誠こめて

兵役編入者報告祭

きのふ新京神社で盛大に

時から家天朝日軒で開催され をなかるを目的とし且つ取締 をなかるを目的とし且つ取締 をなかるを目的とし且つ取締

地震視金にして下さいと金五郎、佐藤八郎、下田耕蔵の三郎、佐藤八郎、下田耕蔵の三郎、佐藤八郎、下田耕蔵の三郎、佐藤八郎、下田耕蔵の三郎、佐藤八郎、下田耕蔵の三郎、佐藤八郎、下田村、東北沿害地・義捐金にして下さいと金五郎、 奇篤な少年

事の外は在郷軍人會員。施友 会員、長男會員と園防館人會 員で新京全市を奉げて行ける で第一線に在るものの急軍 変援の精神に強握しつゝある 中に見えて心苦しかつた、し かし壯丁は郷里を離れた異郷 に父兄に代るべき在郷軍人、 は新京特別市至聖大路に決定したを正五十二日間にわたつて開催されて開催され

の外山本貞、出口一男、山口の外山本貞、出口一男、山口の外山本貞、出口一男、山口を元配、高稲清忠、顧田弘人を元配、高稲清忠、顧田弘人を元配、高稲清忠、顧田弘人を元配、高稲清忠、顧田弘人を記述が、一十七名が雜費を節約したり、

至聖大

からヤマトホテルで晩餐を催 一二日入京、二十三日午後六時 二十三日午後六時 一二日八京、二十三日午後六時 一大阪毎日新聞主筆高石眞五郎 大每高石主筆 右は以上三名 滿洲國大博

日の出を拜する

川口好久君入管 川口好久君は奉天〇〇〇〇 第〇〇線に来月一日入營、三 十日出設の豫定、同君は長崎

サ五日(日曜日)朝六時四十 《新京日田時刻六時四十六分》 (南市民早起會は六時五十分か

现大并對 國 幣 企 藥 對 國 幣

MIENI

教會集 香新京

回能

野校 年前九時 野 年前十時年 野 年前十時年 舞 午發七時

御用の方は電話三七五六番內重谷へ

貸電話あり

大連新聞鐵管業部

格安に御相談申上ます

三笠町一丁目二二

在新四九三七多

(三間) 休春塔、浴塗、電敷鹽完備以上三

世 角 治

近距離聽取用

三珠二七则

一三五四

七昧一四五四

けるの 銀相場

びす市大人気

新京商業▲組

第二回無段

柔道大會

覽會々塲

121 第三十二章 第二十二章 第二

是三個數 1 新京警察 0 范家屯警察 佐渡おける 二十四日公開

市管並に登来の講電バ ディー 資本金百萬間で交通 木型

龍花人

0 10 商業B組

新京公學校で

學生卓球會 サ五日午前九時から野が南内室町新京公園を使の第一個郷生卓社の第一個郷生卓社の第一個郷生卓社の第一個郷生卓社の第一個郷生卓社の第一個郷土・

洋体協加盟の東

天保忠臣藏 撮影 石木 秀雄

日時 昭和九年十一月第二十七日日日自午後五時會場 打一尺 一局 学 女 學 校 端門 堂 一、満洲無線界ノ泉状 順東軍参謀都第一棵歩兵少佐 佐々木省三氏 一、デデナナラ信機和立實資 華京 無線工務所及 佐々木 散形氏 四、サデオペドウッテ 伸、 4.0 一、 4.3 手 大 7.5 デナラ 6.4 東 第 4.3 東 第 4.3 東 5.5 東

十一月二十六日近

The state 各種全部到着 新京日日新聞社 H 後 援 南满洲電氣株式會社新京支店主催 學為 洲電信電 新株式會社新京支店 配 新株式 會社 主義のよ四名(柳本二名) 女髮結師及弟子入用

4种国州种

精投に山木嬢 (大板園通) 日本女子サリム (大板園通) 日本女子サリム デー農社四〇ポニーを投げた山本

では一体どんなスケートを買っては一体どんなスケートを買っては一体どんなスケートを買

一、スケーテイン

グの種類に付て

十分位二日も練習しますと出 十分位二日も練習しますと出 本る様になります、大二カー がの練習ですが前進滑速中雨 に滑つて居る時左へ鳴りたい 時に身体全体をスケートと一 をゆし後カへ引き組も歩し左 をゆし後カへ引き組も歩し左 をかしたのはでする時をである。

支那革命の思 梅屋庄古翁

【生れながらにして…】 人は『生きたい!』と欲求

Q

一〇五

「乳房を離れないこの手こ

午後之節

過現未の三世を

万に互る顔求

では云云…」 と云ふ言葉が盛んに徒行して るる様です…現に講話の終つ た後で課長さんが

出したのです…文に出したのです…世上の所謂目的は各自です…世上の所謂目的は各自です…世上の所謂目的は各自 者の様に佐つて今世に飛び ふことや者し…」 です…確かにそうだと私は 「喜ひの言葉に弄らずして

即ち るかを二三の例を以てお話しにどんな姿となつて騙れてゐ

キャラメル、チョコレート 緑茶(ケーキ附)甘納豆、

ることの

大、五〇 ラデオ管操
七、一〇 ラデオ管操
七、一〇 ラデオ管操
人、三〇 子供の時間
八、三〇 子供の時間
(審天より)
一〇、三〇 演藝(音語)
(奉天より)
一〇、五九 時 書 子
一〇、五九 時 書 子
一〇、五九 時 書 子
一〇、五九 時 書 子
一〇、五九 時 書 子 七、五五 漫談(東京より) 八、二八 時報(東京より) 八、二八 時報(東京より) 八、三〇 ニュース (東京より) (南語)(吉林より) (南語)(吉林より) 吉林省教育会優要 自 順民教育之儒要 自 順民教育之儒要 自 順民教育之儒要

九、〇〇 北蔣の時間 (露語)(特爾漢より)

『紅葉の様な可愛いこの手

若木仇名草 松本大大郎 ・四〇 新内へ東京より

五五 詩吟(東京より) 本間

ヤンの一事手の中にも人間本ではありません!無心の赤チ

廿五日は 高女バ

於茶語錄

ザ =

「十分間オペラニン」 「・少女と宮紅」、おもちや 三、カルメンの唄

東洋拓殖殿新京支店一名以上を要す小學校卒業小學校卒業

藤迄

各種取揃へて有ります。 発 な る 防 窓 靴 御入用の方は左記 ボックス皮 テエッコ製品 赛毛

東一條道十四

便風北

館

畵 都 京

主催 青井表具店美術部會場就町於太 子 堂 電話三 六四番

日時本月 二十五日 二日間 至午後九時

名家美術 展 覽

電話五六六番 タイヤ街 老松町

美味しくて安質!!

選近に不拘御属け申しますない。御家庭には小樽詰を御美の致し

庵禪州金

特等品 正集十大大語 20°NO 正珠三人圣話 御用命の方には特に御相談に應じます 10000

50

★大連醬油等出版工長至天和園直賣所 新京吉野町三丁目八

一大連醬油蘇出張所 電話二七二五番

開

田

中 朝日小學校筋向入船町二丁目九番地 幽

出期間

本 # 四 日、廿五 Ħ # 六 日 三日 間 限

で京新 始めての ゑびす 小特鈞 切品切 野町二丁 豐富提供 吳 人目

▶ 圓五十八價市(り限着十五) ◆

(筋通ルタビヤキ)目丁三町士富京新

一七三六番

六七四 話電

出賣恩謝念記年週三店開 ▶でま日五月二十りよ日廿月一十◆

でである。

"四"。

京の

界

阪神日

休

巨智

八

景。

李風階作

簡易宿泊所 室 太平衡十一號業學

から開館

ランチタ 年 周 一店開座形 唄の カフェー 是非御 り込め!! 私い酒場のネオンが招く う 飲もらよ 底の乙女のパッション もみが色づく!! 繰り込め!! 立 給 寄 Z 電話二位二 りか 年前十一時より 人形座の宴に… 畑らずや TO

ルセー 口 ユ 團の組織犯行ミ 暗殺こ國際的暗流 中歐東歐國際政局での關係

間には維満的接近の氣運が起

この五項に海軍の方針を全部 一数國民は、宜しく此の五項 の方針を支持して離局突破に 努力しなければならぬ殊に一

税務監督署理事官 加藤健治 猪野野正治一給八級俸

事實公署理事官 傅 玉 桐 高豐公署事務官 大森 榮助 先に横はつて居るのを發見すの可能性がマルセーニ事件の

生が東京の街路を横行し

を必勝の算は立てゝ置く必要 が職争が勃發した場合に於け が職争が勃發した場合に於け をためが認の軍

授しなければならむ(完) 吾々は擧國一致海軍を支持後 吾のは李國に貢献する所以である 清洲國辭令 我海監督署事務官 朱 鳳

於一級俸 吉黑確運署事務官 王 式 跳 お一級体 治一級体 治一級体

吉黑薩選署事務官 伊村 曼吉 吉黒確選暑理事官高谷大二郎

金ラフ

*日米軍縮必爭線 伊藤正德

洋の音樂と舞踊田辺尚雄

石先生臨終記內田

サトウハチロー

懸言枚

紋付羽織

賞

新發明品

日円以内で出婦人

人问题

から 小中 高茂

海(各通) 湯副司稅官趙 恭 寅

氏を憶ふ

神繪問題 語 四洋名醫傳入澤達吉日米野球戰 川如是閑 יורי ווושרון

神華息名非討

福澤諭吉 大晦日日記 開業の対しい島政二郎 佐野繁次郎 徳永

長與善即 尾崎士郎 里見弴

讀さねば損

れるリ

手紙。上達法

21三人附錄。定價五十錢

る

火のやうな勢で曹 ·災害救濟豫算 ◆臨時議會と政黨の立場 間時識官の農村對策

草

若き甥について從妹へ野上骊生子 支那殿首腦者 波多野乾 經濟上手。春。方秘傳座談 手紙上手は一生の徳・紫の大家

に聞かせ男心 法當手の肌の人の性れ荒 **令9子供服四種** 東表座歌

日本の女發明家奮闘哀話 東北凶作地。婦 不具。子。素直。音·經驗 へ慰問記

腎臓病を家庭で根治が実話 簡單に出來る羽織紐四種手際よい足袋靴下繕び方状家の感冒妙藥計脈の ひ方

特許出願中 はいた。 はでも大学呼どと、これは便 と何處でも大学呼どと、これは便 と何處でも大学呼どと、これは便 これは便利だ、

家中から喜ばれるな 理自慢の婦人八十 来客にも冬中国 今の料理大全領 出出

稅務監督署事務官 三上 宋 市票人 水越內之介 新京日日新聞社 17 A.A. 專賣公署事務官 專賣公署事務官 專賣公署事務官 專賣公署事務官 專賣公署事務官 專賣公署事務官 吉川高會 板材 禄甲板

升] 朝 頁八共刊夕紙本

融行所

がま 立本 会計 収息 計 計 等 二 単

明年は海軍軍縮會議

軍縮を解く鍵

帝國在郷軍人會から



何れの點で青がされるに至一
る國防の安全艦が何故に且

首相兩黨首を訪問

議會に於ける支援懇請

最早希望

生れたし

福時都 「東京議論」 拓狭省農等 一、九六七 和大 級旭

强硬態 に反

쨏

際

五

九

五

九

京

3

力

4

相苦境に立たん

米國の傳ふる

第三次英米會談內容

四日の日米倉談は十六日に延 那も網目にわたる**腰**親 北蠍交渉の 央裂を策す

小兒科 吉野町一ノ十一 堂脇

電話五五一一番 像むツ聯 選挙の成立の時、その

85 TH

論功行賞 端別移植及 提花額羊槍克要 八四次 八四次 八四次

移殖民及事外拓殖集 上なる新規事業 四、

28/e 2000 - 2000 出

完 宿 舍

安全保障平等と

悲觀材料の多い軍縮會商

海軍力平等は違ふ

英、米が我案に反對意見一致

豫備會商の

政治問題討議

關東廳法院 古物特出して

又復門日記 マルテ政務整理委員會長 の名に於て南京ります。 本書政務整理委員會長

ン氏(英國新聞記者)
ボテル投稿

電

話

五

九

五

九

阀 新

京 3 力 + SCENERS SOCIONORS (舊 演

館 跡

中露的のものに過ぎなかつ

本社編戦局長松本勇氏は今回本社編戦局長松本勇氏は今回

ラヂオ講

闘東軍参謀部第一課

日並に耕断は次のと

本二十九日 ラデオの法規
本二十九日 ラデオの法規
満洲関交通部野務局
版 放送装備と受信原理
新京工務所放送係を受信原理
新京工務所放送係を受信原理
新京工務所放送係を受信原理
を受性管場整理費として五十
を受性管場整理費として五十
を受性管場を受信機組立
本に貨幣
新聞」が表表に、口頭をもつて補

前十時段アジアで社任に次し前十時段アジアで社任に交通部第二輪送課席務主任に禁

右關信助氏

かった代質質を申

であるが高数

回源版书、陈鹤不妨多

六日朝赴任

二十四日暇乞挨拶に來肚した

員の中

女子青年會

あか新京旅途局長 るか新京無線工務所長 本二十八日 世界のラチオ界 体々木紋郎

キロ放送及覧城子無電台を見 サロ放送及覧城子無電台を見 サロ放送及覧城子無電台を見

開催、敷異鈔の講話がある
関本願寺第二国佛教女子青年

ラデオ受信機と電狐料

松本編輯局長

ť

"

農安に永久的の 隔離所が

新京和商協査所主任片山技師 は満別園民政部の委嘱を受け て異安、監控高、扶除方面の 類容かたがた関方面に隔離所 新設のため出場中のところ!! 技師の歸來談 もので、結氷期とともに京 所下するため、これが整致 のため一時的のものではあ のため一時的のものではあ

ら検疫を酸電にしても隔離 ちならないはずである、新 ならないはずである、新 には是非とも永久的の隔離 には是非とも永久的の隔離 には是非とも永久的の隔離 には一般にある。な は同方面のペストも十月末 を遠として殆んど終熄した といつてよいこれは酸塞類 に入つて最の活動が級漫で される響である

数千坪からある敷塊の清掃、「内の三、四、五摩年六學績を行つた 薪京忠 雙塔 及ひ 一萬」いよ來月一日から同校通學區二十一日除墓式及ひ納骨式を「が職員も清任しつゝありいよ 管理は関東軍から地方に依然 靈塔神域は 中内の各學校が清掃

今度は民政部衛生司の場形 として出かけたものだが農 として出かけたものだが農

のものを三、四、五単年につまでに區域内に轉胎する強定 校では現在白菊小學校通學區新設することになり宦町小學 せられる筈であるが、他官立大學に比して常に開料化學科體課生入學を志願し、近日中に入學許可駐日稱刑酬公使丁土瀬氏の獲女了職先變は東大染

點の聽講生

と散つた忠勇義烈の職士二千

式に参列し

鄭總理感激

一詩を作る

忠靈塔除幕

日滿洲國公使令縣

放的な同大學の立場は各方面に好評がある

行性れ同時に勇士の分骨は顕有な水外に安置す

かに動骨されたが、横州側面東軍絡の間保者の手でしめや

ある、この機をねらつてま、他やくもボーナス気分に浮かれ旅行などの話でもちきりで

摩年四単級あるだけである在白菊町小學校の學級は一 滿洲事變の いて二十五日までに申出でる とことにしてゐたが二十五日ま での観査の結果三年男子七 名、女子十八名、一世年男子七 書名、女子十二名、五年男子七 書名、女子九名合計七十一名あ かった

忠靈塔合祀者名 (E)

受雇するものと言はれ新春一月中旬頃より活動をれに現在の新武器を備へた優秀車で江防艦闘等の1日動車を新造した。この使甲自動車は改物人員O

動する陸の軍艦

カフェーでは 得意先に向け なってあるが、

正象師責任鑑定

光明。道へ 生活より今直ぐに

毛皮の店

ベント兄

B

上海支店 上海パプリングウ

と見られるに至つたので、 あす解検の打合せ

大事を踏んで来月十五日頃ま 大事を踏んで来月十五日頃ま しあるのだから保證は出来しあるのだから保證は出来

競技會業

新元京局から 曹党で行はれる会務通信現象 野校會に出席する新京局の選 手特級。谷内、松間三君と競 養會の指揮に當る本用郵便課 が押印、解解匿分、通稿等の 各種親我の優劣を争ふもので 各種親我の優劣を争ふもので を種類我の優劣を争ふもので をを提到表の優劣を争ぶもので をを要ぶるので

式會社新京支店後援のもとに 電話株式會社、南端淵電氣株 演藝のタ 十二月一日夜

~

夜間特別運轉を行ふ筈である

成道會開催

楽した

る「忠靈塔の詩」をものし發って式徒左の如き英靈をまつ

現骨貫佳穴、
高名爭日月、

招魂有凱歌· 英氣壯山河。

呵

寛城子で 日太子堂で

来月八日は輝雄が菩提樹のも とで正覺を成就した能念日に 日午後六時から日曜學校、 青年會、女子青年會後提で太 子堂において成題會を開く、 一一人の餘興あり見童、 題見たちは

収入未整事件として一件書類の販酬べの結果既報の如ぐ作販賣人泰大計(三五)は新京 私の邪推から ので検事局では ので検事局では ので検事局では ので検事局では ので検事局では 公判に付すこ

傷害那として起訴された楽大 は二十四日檢事局の召喚で下 田檢事々務取扱から取調べら れた後本事件の設端は選まサ が同女は ましたが

オ女前非を悔 ます。今と ます、夫の! となって夫に傷物でしたことも思い ているう

とになった 展を贈るべく民會評議員を

住消息

忘年會はごちらに 料亭、食道樂、カフヱー ▲日影末夫氏(佐賀縣)室町二丁目一番地ダイヤビル中號へ 和泉町一丁目三十六號ノ用泉町一丁目三十六號ル大田県の一丁目三十六號地球原方へ丁目十九番地球原方へ

次第でどこへなりこ カフエー、料亭、金道薬に 運のよくなる 觀相と易斷

會費

▲佐藤湾市氏(愛媛縣)公主 強から宝町四丁目二番地鍼 遺從事員合宿所へ 選從事員合宿所へ 市本橋通り四十五番地鍼川 方へ 日十六香地潴電駐宅二歌政氏三笠町から錦町 居

1四へ | 四五郎氏(奈良縣)奉天日五郎氏(奈良縣)奉天 四番地三號ノ五へ四番地三號ノ五へ 氏同上趾宅第二十五

▶會商トンベ先は用御の皮毛◆ 皆様防寒の御用意は? 入荷 神 ナ 用 毛 皮 外 等 神 士 用 毛 皮 外 等 屋外にては事をなさる方には丈夫で最適の現場をなさる方には丈夫で最適の現場をなさる方には丈夫で最適の現場をなさる方には丈夫で最適の現場をなさる方には丈夫で最適 急 告!!

東亞與業株式會社新京出張所新京特別市新發屯清和街第一〇一號 貨家 六六 疊疊

建康診斷 建康診斷 寬城子町 内會生る

滋養豊富な

清州語研究員募集、清州語研究員募集、清州語研究員募集、

初學者及稍解者 (男女)

ノルカノ程度に依り暗時各組に個人スルコル料 毎月 月 貳 圓 日十二月四日

お口に合ふて

算盤に合

3.

ので領事館の命をうけその時内の仕事は大西區長式 はかる目的で るたが現在で ンポッス

理料 御宴會は破格のお勉め御一人前二圓の桁ハズレ 水タキビチリ 日通

傷害罪で起訴さる

新つてるますと語うた

朝鮮居留

計議員制設置

内食で詰つてことに當る

間

金備取所

婦斬

h

食道樂とどろき 電話三九三六番

切京大和通四七 新京東二條通四三種上(海維條院四) 今 田 商 **医新二九三三**

大、大、三、〈三間〉がまり、大、一、〈三間〉がまり、大部町四丁目廿一番地大・大部町四丁目廿一番地大・大部町四丁目廿一番地大・大・一、〈三間〉がまり、 店員募集 (三間) 坎郭堪、浴室、電無器完備以上II 整川OMA 行 T 七治 喜べ酉 魚!! 白 E 白 鹿 他各 宗

最新二一〇一、玄質五人 洋行 引 3

		機								N	No.					No.			
														1000				,	
岡	小川	办	大	大	野	爪	村井	築	高	高岡	吉	JII .	别	渡	石	井	井	入江	
野	順	Ш	場	岩	* 木	谷	啓	島	木	又	村	村	府	部	橋	上	E	Æ	
	之	亮	春	峰	定	長	次	信	磐		英吉	龍雄	龍	重	*	信翁	輝夫	太郎	
9	助		吉	吉	吉	造	部	司	雄	郎		44	HE				^	240	
					1 K M					7.					1				
F	森	廣	志	白濱	宮	秋	寺田田	小	古	藤	福本	增	Ш	縣	Щ	久	小	太	
1	M	石	村	多	井	Ш	良	住	泉	本	順	H	中	庄,	縣	下	倉	田	
î	莊	郁磨	徳三	次郎	隆次	卯八	之助	善藏	光	質	事	義男	繁雄	太郎	稔	沼英	舞二	信三	
會社 昭 和 製 鋼 所			拿社 大連機械製作所		福昌華工株式會社		國際運輸株式會社		大連汽船株式會社		總裁山 內 靜 夫	瀟洲電信電話株式會社	大連淡保險株式會社		南滿洲瓦斯株式會社		南滿洲電氣株式會社		
新高製菓大連工場大久保國平大人保國平		大連自動車株式會社		株式 ヤ マ ト 内 合	大連市営・大連市製井町八八名を		森 永 製 品 大油市外面積度		滿洲石油株式 會社		出張所 新京中央通	大阪商船縣大連支店	満洲土建協會		大 連 支 店		# # # #		
大連盛進商行		島喜商店	電影扇玉七二 書	月星 合資 會 社	大支店	#ポリドール大連支店	答 D 近 江 洋 行 太瀬市海連町三丁目		會養 三 田 組	±	一个 一	大適市山縣通	離賦 彰卯商店大連支店	山 葉 洋 行		丁子屋洋服店	*** *** *** *** *** *** *** *** *** **	本店 勝又洋服店	
	芳	渡町		會社子組店	市古野町小		第 一	*		町	四 店 坂 摩	遊	, , ,	で 行		服店ルケ	大三二四番 本 口 鑑 常	服店	